

ED-005

環境経営レポート

2022年度

(2021年12月～2022年11月)



佐竹特殊鋼株式会社

2023年5月1日発行

1. 組織の概要

(1) 事業所の名称及び代表者

佐竹特殊鋼株式会社
代表取締役 佐竹昌史

(2) 所在地

本社
東京都立川市一番町 4-65-32
電話 042-531-8656

営業本部・物流センター・加工センター
東京都武蔵村山市伊奈平 1-28-4
電話 042-531-8681 FAX 042-531-8684

(3) 事業内容

特殊鋼の素材販売・加工販売
非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(4) 事業規模

創立 1973年3月30日
法人設立 1974年11月30日
資本金 1,200万円
年商 600百万円
従業員 16人 (パート・非常勤も含む)

2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

特殊鋼の素材販売・加工販売、非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(2) レポート対象期間

2021年12月～2022年11月

(3) 活動レポート発行日

2022年5月1日発行

3. 環境経営方針

【基本理念】

佐竹特殊鋼株式会社は、素材販売、機械加工を行う会社として環境に配慮した会社をめざし日々努力していきます。

地球環境保全が、最重要課題の一つであると共に、かけがえの無い地球に住む一員であることを認識し、地球環境を考えた事業活動を全員参加で展開することを基本理念とします。

【環境経営方針】

1. SDGsの目標設定

- ゴール5 ジェンダー平等
- ゴール7 エネルギー
- ゴール8 雇用
- ゴール12 持続可能な生産・消費
- ゴール13 気候変動



2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連の法規制を順守します。
4. クレーム削減を徹底します。
5. 3Sパトロールの実施と振り返り
6. 新人教育マニュアルの作成及び実施
7. 採用戦略の立案
8. 展示会への出展による新規顧客の開拓の推進

この品質環境経営方針は、社内外全ての方に周知をする為に、開示します。

改定 2019年1月11日

制定 2015年2月2日

佐竹特殊鋼株式会社
代表取締役

佐竹 昌史

4. 環境経営目標

| 項目 | | 基準年度実績 | 2023年度中期目標 | 2022年度目標 | |
|----|--------------------------------|--|----------------------|---|----------------------------------|
| 1 | 売上高 | 2014年度 100 % | 2014年度比 145 %以上 | 2014年度比 150 %以上 | |
| 2 | 顧客クレーム削減による環境負荷の低減 | 2018年度発生件数 19 件 | | 発生件数 5 件以下 | |
| 3 | 社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減 | 2018年度不具合発生 物流センター 3件 加工センター 3件 調達課 0件 外注 1件 | | 不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 調達課 0件以下 外注 0件以下 | |
| 4 | 二酸化炭素排出量の削減 | 排出量 | 2014年度 79.6 t | (173 t) | |
| | | 売上高排出量 | 2014年度 79.6 t/100 | 2014年度比 150 % 以下 119 t/100 | 2014年度比 150 % 以下 119 t/100 |
| 5 | 廃棄物排出量の削減 | 産業廃棄物 | 2017年度 820 kg | 2017年度比 134 % 同等 1,100 kg | 2017年度比 134 % 同等 1,100 kg |
| | | 一般廃棄物 | 2017年度 1,915 kg | 2017年度比 110 % 2,107 kg | 2017年度比 65.3 % 1,250 kg |
| 6 | 紙使用量削減 | 使用量 | 2014年度 106 千枚 | (千枚) | (千枚) |
| | | 売上高使用量 | 2014年度 106 千枚/100 | 2014年度比 95 % 100.9 千枚/100 | 2014年度比 75 % 79.6 千枚/100 |
| 7 | 製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応) | 顧客要求に 100%対応 | 顧客要求に 100%対応 | 顧客要求に 100%対応 | |
| 8 | +O ₂ マングローブ植林プロジェクト | | | フィリピン市にマングローブ苗木を植林する | |

・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

5. 環境経営計画

(1) 環境負荷削減活動計画

| 項目 | | 基準年度実績 | 2022年度目標 | 2022年度活動計画 | |
|----|--------------------------------|--|---|---|-----------------------------------|
| 1 | 売上高 | 2014年度 100 % | 2014年度比 150 %以上 | 新規導入した工作機械を含めた工場見学や展示会への積極的な出展で、深耕営業及び新規営業に注力する | |
| 2 | 顧客クレーム削減による環境負荷の低減 | 2018年度発生件数 19 件 | 発生件数 5 件以下 | クレーム内容を深掘りし、適切な是正処置を行い周知徹底させる | |
| 3 | 社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減 | 2018年度不具合発生 物流センター 3件 加工センター 3件 調達課 0件 外注 1件 | 不具合発生 物流センター 4 件以下 加工センター 10 件以下 調達課 0 件以下 外注 0 件以下 | 賃金システムを今年から導入し、改善提案を積極的に行う風土をつくる | |
| 4 | 二酸化炭素排出量の削減 | 排出量 | 2014年度 79.6 t | (173 t) | 売り上げ原単位基準年比+50%以下で現状維持。 |
| | | 売上高排出量 | 2014年度 79.6 t/100 | 2014年度比 150 % 以下 119 t/100 | |
| 5 | 廃棄物排出量の削減 | 産業廃棄物 | 2017年度 820 kg | 2017年度比 134 % 同等 1,100 kg | 今年度は、廃油で目標値を上回る予定がない為、昨年同等の目標値とする |
| | | 一般廃棄物 | 2017年度 1,915 kg | 2017年度比 65.3 % 1,250 kg | |
| 6 | 紙使用量削減 | 使用量 | 2014年度 106 千枚 | (千枚) | 売上原単位で、計測する。 |
| | | 売上高使用量 | 2014年度 106 千枚/100 | 2014年度比 75 % 79.6 千枚/100 | |
| 7 | 製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応) | 顧客要求に 100%対応 | 顧客要求に 100%対応 | 顧客からの要求があった場合、対応する。 | |
| 8 | +O ₂ マングローブ植林プロジェクト | | フィリピン市にマングローブ苗木を植林する | | |

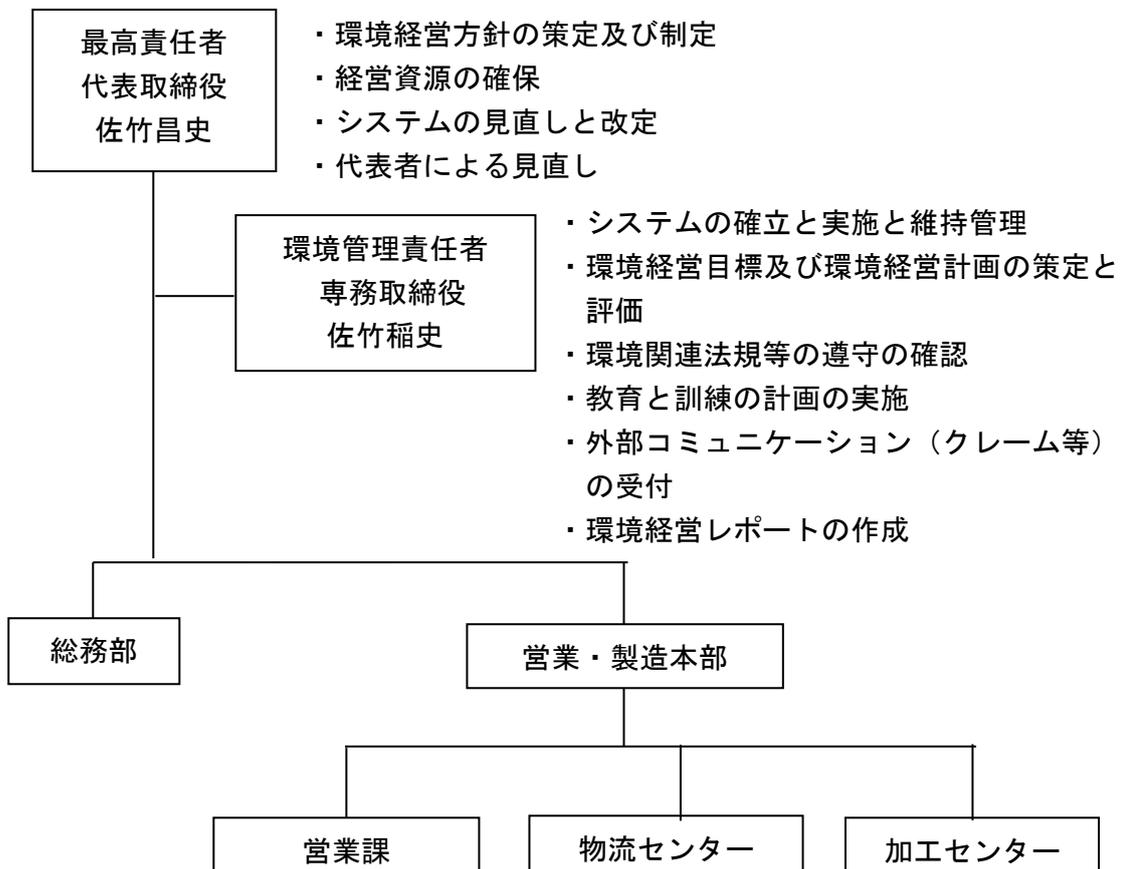
・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

(2) SDGs 活動計画

| No. | 項目 | SDGsゴール | 2022年度 活動計画 |
|-----|---|---|--|
| 1 | ゴール5  | ジェンダー平等 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進 | 新規導入した設備を24時間365日稼働に近づける事により、残業時間短縮しながら、生産性を上げる内容をSNSで発信 |
| 2 | ゴール7  | エネルギー 省エネ等のエネルギー効率の改善 | 太陽光発電の設置に関して助成金の助成率を確認しながら、設置の検討をする |
| 3 | ゴール8  | 雇用 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進 | 180度パノラマ画像やYouTubeでの各部署の紹介などをホームページに掲載して、入社した際のイメージが解りやすくする リーダー育成塾や、金融機関の新人研修などに出席 |
| 4 | ゴール12  | 持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、廃棄物の削減 | 職歴の短い社員が増えた事から、以前のは正処置内容を確認しながら、課全体で周知する事 |
| 5 | ゴール13  | 気候変動 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減 | 引き続き、デマンドによる最大電力量の低減 |

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

● Eco Action 組織図



● 環境経営取組内容

・売上高について

2014 年度対比 150%以上の目標を掲げて進めた。結果は 150%目標達成となった。半導体業界の好調により売り上げは、これまでよりは大幅に増加させることが出来た、また、素材の高騰も売り上げ増に拍車をかける事になり、それが数字に大きく影響した。客先の新規部品を取り込み、新規顧客の拡販で、来期の売り上げ目標を達成する。

・顧客クレーム削減による環境負荷の低減について

目標設定は、5 件以下とし、実績は 3 件となった。今後 DX で図面に是正処置内容が誰でも見えるようにし、不良の削減に努める。

・社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減について

2022 年度の目標を、2021 年度実績の物流センター4 件、加工センター14 件に対して、2021 年と同じく物流センター4 件以下、加工センター10 件以下と設定したが、結果は、物流センター4 件 加工センターは 16 件となった。物流センターは目標をクリアしたが、加工センターはヒューマンエラーを含め、作業者の入れ替えによる加工方法の徹底や、以前は是正処置票での周知徹底不足などで、目標未達となった。DX を進める事で図面に以前の是正処置内容が閲覧出来るようにする事で、大幅な不具合発生削減に努める。

・紙使用量について

今年度より、購入枚数を使用量として集計する事にした。来期はその枚数をベースに目標設定する。

・産業廃棄物排出量について

2017 年度対比 134.1% 1100Kg を目標とし、実績 343Kg で、目標達成した。要因は、加工センターの工作機械の廃油を今期廃棄しなかった。来期は2 期分の廃油廃棄分を足した目標設定となる。

・二酸化炭素排出量について

2021 年度の目標は、売り上げ原単位で2014 年度基準年に対して150%と設定した。加工センター新設に伴う工作機械の稼働により電力量は増加したが、売り上げも150%と増加した為、二酸化炭素排出量は、売上原単位で126.3%となり目標より低く抑える事が出来た。来期は売上原単位で、基準年と同レベル(100%)とする。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

(1) 環境経営活動計画の取組結果とその評価

| 項目 | 2022年度目標 | 前半期実績と評価 (5月末) | | 2022年度 実績と評価 | |
|----|--|---|---------------------------------|-------------------------------------|--|
| | | 実績 | 評価 | 実績 | 評価 |
| 1 | 売上高 2014年度比 150%以上 | 2014年度比 49% | 半導体検査装置メーカーの受注が旺盛だった為、売上げが増大した | 150% | 素材高騰による売上げアップにつながり達成 |
| 2 | 顧客クレーム削減による環境負荷の低減 発生件数 5件以下 | 発生件数 3件 | 基本的な内容なので、部署内で徹底する。 | 3件 | 新人等に対し、是正処置内容の徹底をする |
| 3 | 社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減 不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 調達課 0件以下 外注 0件以下 | 不具合発生 物流C 2件 加工C 9件 調達 0件 外注 2件 | ヒューマンエラーなどについては、加工センター会議で深掘りをする | 物流C 4件 加工C 14件 調達 0件 外注 2件 | 加工センターについては、ヒューマンエラーの為、DXの取り組みの中で、是正内容の見える化をする |
| 4 | 二酸化炭素排出量の削減 排出量 (173 t) | 87.8 % 69.9/ t | | 189 % 150.8 t | |
| | 売上高排出量 2014年度比 150%以下 119 t/100 | 182.0 % t/100 | | 126.0 % 101 t/100 | 売上げ増に伴い、目標値をクリアした |
| 5 | 廃棄物排出量の削減 産業廃棄物 2017年度比134%同等 1,100 kg | 25.4 % 208 kg | 加工センター、物流センター後半に廃油の廃棄予定 | 41.8 % 343 kg | 今期 廃油の廃棄が来期になり数値が減少 |
| | 一般廃棄物 2017年度比 65.3 % 1,250 kg | 61.0 % 1,035 kg | 売上が前期対比10%UP | 94.0 % 1,800 kg | 売上げ増による増加 |
| 6 | 紙使用量削減 使用量 (千枚) | 26.4 % 28 千枚 | 今期より購入枚数に変更した | 57.5 % 61 千枚 | 紙使用量から今期より購入量に変更 |
| | 売上高使用量 2014年度比 75 % 79.6 千枚/100 | 26.4 % 57.1 千枚/100 | | 57.5 % 40.7 千枚/100 | |
| 7 | 製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応) 顧客要求に 100%対応 | 特になし | | 特になし | |
| 8 | +O ₂ マングローブ植林プロジェクト フィリピン市にマングローブ苗木を植林する | マングローブ1,026本植林達成 | | マングローブ累計植林本数1,188本を達成 | |

・電力のCO₂排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO₂/kWhを使用。

(2) SDGsの取組実績

| No. | 項目 | SDGsゴール | 2022年度 活動計画 | 2022年度実績 |
|-----|--|---|---|--|
| 1 | ゴール5  | ジェンダー平等 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進 | 新規導入した設備を24時間365日稼働に近づける事により、残業時間短縮しながら、生産性を上げる内容をSNSで発信 | 東京都中小企業振興公社のDXの推進の取り組み2年間を実施し、見える化を実現予定 立川市男女共同参画課の依頼で、女性と企業のトークカフェに参加し、企業PRを実施 |
| 2 | ゴール7  | エネルギー 省エネ等のエネルギー効率の改善 | 太陽光発電の設置に関して助成金の助成率を確認しながら、設置の検討をする | 今回 太陽光発電の助成率が低い為、来期以降に変更 |
| 3 | ゴール8  | 雇用 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進 | 180度パノラマ画像やYouTubeでの各部署の紹介などをホームページに載せて、入社した際のイメージが解りやすくする リーダー育成塾や、金融機関の新人研修などに出席 | 7月よりVR画像、360度パノラマ画像をホームページに新たな設備と共にアップした 4月に2名、多摩信用金庫にて、新人研修を受講 |
| 4 | ゴール12  | 持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、廃棄物の削減 | 職歴の短い社員が増えた事から、以前の是正処置内容を確認しながら、課全体で周知する事 | 毎月1回の環境 品質会議の会議の中全社員に周知徹底した |
| 5 | ゴール13  | 気候変動 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減 | 引き続き、デマンドによる最大電力量の低減 | 環境・品質会議で環境負荷に関して読み合わせをし、環境負荷の数値を周知徹底した。 |

(3) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

| 項目 | | 基準年度実績 | 2026年度中期目標 | 2023年度目標 | 2023年度活動計画 |
|----|--------------------------------|---|---------------------------------------|---|------------------------------------|
| 1 | 売上高 | 2020年度 100 % | 2020年度比 300 %以上 | 2020年度比 160 %以上 | 営業を増員し、新規営業に注力する。 |
| 2 | 顧客クレーム削減による環境負荷の低減 | 2020年度発生件数 5 件 | | 発生件数 3 件以下 | 毎月の会議で是正処置内容を再確認し周知徹底する |
| 3 | 社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減 | 2020年度不具合発生 物流センター 5件 加工センター 21件 調達課 0件 外注 0件 | | 不具合発生 物流センター 5件以下 加工センター 16件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下 | DXで加工センターの過去の是正処置内容を図面に添付し、視える化を実施 |
| 4 | 二酸化炭素排出量の削減 | 2020年度 排出量 115.6 t | (347 t) | (185 t) | 削減目標は売り上げ原単位で同レベル(100%)とする。 |
| | 売上高排出量 | 2020年度 115.6 t/100 | 2020年度比 100 % 以下 116 t/100 | 2020年度比 100 % 以下 116 t/100 | |
| 5 | 産業廃棄物排出量の削減 | 2020年度 1,515 kg | 2020年度比 150 % 以下 2,273 kg | 2020年度比 120 % 以下 1,818 kg | 新規設備稼働により、廃油が多く出る予定 |
| | 一般廃棄物 | 2020年度 1,465 kg | 2020年度比 150 % 以下 2,198 kg | 2020年度比 120 % 以下 1,758 kg | リサイクル分別の推進 |
| 6 | 紙使用量削減 | 2020年度 87,081 千枚 | (391,865 千枚) | (181,128 千枚) | ペーパーレスの推進 |
| | 売上高使用量 | 2020年度 87,081 千枚/100 | 2020年度比 150 % 以下 130,622 千枚/100 | 2020年度比 130 % 以下 113,205 千枚/100 | |
| 7 | 製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応) | 顧客要求に 100%対応 | 顧客要求に 100%対応 | 顧客要求に 100%対応 | 顧客からの要求があった場合 対応する |
| 8 | +O ₂ マングローブ植林プロジェクト | | | | |

・電力のCO₂排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO₂/kWhを使用。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、

訴訟などの有無

- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 騒音規制法
- 振動規制法
- フロン排出抑制法
- 廃棄物処理法
- 労働安全衛生法
- 消防法
- 都民と健康と安全を確保する環境に関する条例

上記法規等について、2022年12月に遵守状況の評価を実施し、特に問題のないことを確認しました。また、外部関係者からの苦情及び訴訟等は発生していません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022年度の目的目標達成状況については、2023年2月に確認した。加工センターに人員の増員、工作機械の増設を踏まえ、電力使用量のUPを考え、また、環境の変化を予想しながら、産業廃棄物、紙使用量の数値目標を立てる事。

SDGsの目標に対して、今期、具体的な施策を打ち出しているので、周知徹底及び、全員で目標達成の事。

(2023. 4月14日)

・次期環境経営レポートは、2024年3月発行予定。